

この紙面とほぼ同じ体裁になるよう、課題用ファイルを加工しなさい。  
ただし、末尾の3つの指示は指示に従って課題用ファイルを修正しなさい。

専攻（ ） 学籍番号（ ） 名前（ ）

読み仮名をつけることを「ルビを振る」と言います。「ルビ」の語源は、読み仮名に 5.5pt の活字を使い、5.5pt の活字を「ルビー」と読んでいたことに由来します。

親譲りの無鉄砲おやゆず むてっぽうで小供の時から損ばかりしている。小学校に居る時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰こしを抜かした事がある。なぜそんな無闇むやみをしたと聞く人があるかも知れぬ。

ルビを振って下さい。この段落のみ行間を固定値 18.5pt にしています。

夏目漱石「坊っちゃん」から引用

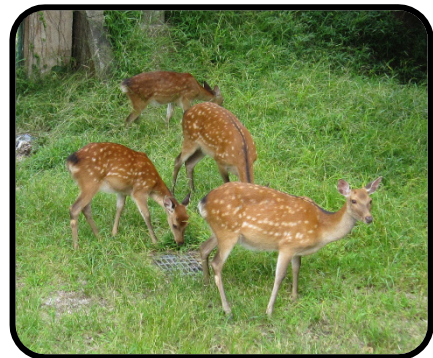
Word で画像を扱うときは解像度の劣化に注意する必要があります。デフォルトでは解像度が劣化します。解像度を落とさないためには、「ファイル」→「オプション」→「詳細設定」で「イメージのサイズと画質」で「ファイル内のイメージを圧縮しない」にチェックを入れます。

図や画像は加工することができます。「図ツール：書式」→「サイズ：トリミング」で不要な部分を捨てます。さらに「図ツール：書式」→「図のスタイル：図の形状」で図の形を楕円、星形、三角形など色々な形に切り抜くことができます。

Worda の文章作成支援機能を2つ紹介します。一つ目は「置換」です。「ホーム」→「編集：置換」です。

2つ目はスペルミスなどの指摘機能です。「ファイル」→「オプション」→「文章校正」→「Word のスペルチェックと文章校正」の5項目にチェックを入れます(デフォルトで入っています)。英文字や和文のスペルミスには赤線が引かれます。文法誤りや表記の揺れに青線が引かれます。This is an pen. という英文や「食べれる」という表現や「コンピューター」と「コンピュータ」が混在しているときに指摘してくれます。

鹿の写真を挿入し、「文字列の折り返し」を「四角」に設定します。次に「図のスタイル」を「角丸四角形、反射付き」(1行目。左から5個目)に設定し、「図の効果」で「反射」を「反射なし」に設定し、「図の枠線」を「黒、2.25pt」に設定します。次にトリミングします。次に「図ツール：書式」→「配置：文字列の折り返し」→「その他のレイアウトオプション」→「文字列の折り返し：文字列との間隔」で左10mm、下5mmに設定します。



たぬきの写真を挿入し、「四角」に設定します。次に「図のスタイル」を「楕円、ぼかし」(4行目。左から5個目)に設定し、「図の効果」で「ぼかし」を「ぼかしなし」に設定します。最後にトリミングします。



文章中の「画像」を全て「写真」に置換して下さい。

赤線が引かれている箇所3箇所を修正しなさい。

青線が引かれている箇所があります。最後の4行中に存在する4箇所について、青線が引かれないう修正しなさい(表記の揺れはどちらかに統一)。